

平成25年度の事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日

特定非営利活動法人安房文化遺産フォーラム

1 事業の成果

25年にわたる文化財保存運動により、史跡化を実現した戦跡・里見氏城跡・青木繁《海の幸》誕生の家・小谷家住宅などをはじめ、有形無形の文化遺産を活用する「館山まるごと博物館」は、エコミュージアムの先進的モデルとして、国内外より高い評価を得るようになってきた。文化庁「文化遺産を活かした地域活性化」事業は3年目となり、総合的な人材育成を目ざして各界を代表する研究者から専門的知識や技術を習得する「ヘリテージまちづくり講座」を開催するとともに、これまでの活動を検証・分析し、「ヘリテージまちづくりのあゆみ」報告集を作成した。

ガイド事業については、2011年の東日本大震災以降、来訪者は激減し、未だ回復しているとはいえないが、平和・人権研修の団体が戻りつつあり、さらに地域づくり視察など多様なスタディツアーが国内外から来訪し、エコミュージアム研究者・大学のゼミ研修等が増え、調査研究事業の連携につながっている。

10年目となる富崎地区のまちづくり事業では、引き続き「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会（以下、青木繁保存会）」の事務局を付託され、少子高齢過疎化がすすむ漁村集落の活性化に取り組んできた。核となる「小谷家住宅（館山市指定文化財）」の保存・活用については、全国の著名美術家のNPO法人青木繁「海の幸」会（大村智理事長・吉岡友次郎事務局長）との連携により、館山市「ふるさと納税」を通じて募金活動を進めてきた。修復費用の目標額のうち約半分が集まり、石橋財団や館山市の補助金も決定し、今春より2ヶ年にわたる管理棟の増改築および文化財部分の修復工事に着手した。富崎地区に隣接する松岡区（神戸地区）では、資生堂創業者の福原有信を語る会を発足し。これに伴い、調査研究や文化活動を支援した。

多様なまちづくりの取り組みにおける観光振興と教育支援への功績に対して、金丸謙一館山市長・出山裕之館山市教育長、および館山市観光協会（小金晴男会長）より感謝状が授与された。

1. 文化財や戦争遺跡を活用したガイド事業と調査研究

(1) ガイド事業

- ① 事前の依頼に応じて、有償プログラム（基本：座学・フィールドワーク・ガイドブック 1,500円/人）
- ② 毎月第一日曜午前に、個人・小グループ対象に赤山地下壕の無料ガイドサービス

・ガイド実績（上段：団体数、下段：人数、赤山ガイドサービス含む） ガイドスタッフ延べ 330名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4	6	8	7	6	7	8	13	4	6	7	14	90
350	280	108	98	114	88	431	263	40	138	251	510	2,671

※前年度＝2,266名、69団体

※例年実施校：わせがく高校、渋谷幕張学園中学、千葉県立東葛飾高校、昭和女子大学附属高校

(2) 文化財の保存・活用事業 ～多様な文化遺産を総合的に活かした「館山まるごと博物館」のまちづくり

- ① 小高記念館：文化庁・国登録文化財のための調査
- ② 小谷家住宅：まちづくり事業（次項）
- ③ 小原家住宅と椿庭園：文化庁事業「ヘリテージまちづくり講座」（次項）
- ④ フィルムコミッション

- ・映画『人類資産』ロケ地：布良大山と大房岬の戦跡
- ・PV「一青窈『蚩』」ロケ地：大房岬の戦跡

(3) 調査研究事業

① 戦跡関連

- ・戦跡整備（草刈り等）、保存への呼びかけ（掩体壕・館砲烹炊所・128高地等）、調査研究、
- ・戦時中の館山／戦争体験証言の収集 赤門鈴木家資料（芳名帳）
- ・学徒出陣70周年展（主催：山口栄彦氏）の協力 10月4日～10日

- ② 里見氏関連
 - ・国史跡里見氏稲村城跡保存管理計画策定委員会(館山市教委・愛沢伸雄委員)
 - ・里見氏家臣団の明治期資料 (福原有信との関係)
- ③ 安房の海洋文化、美術史、転地療養、震災復興、産業史(水産業・房州団扇・房州白土)など
 - ・小谷家資料 ・小原家資料 ・石井家資料 ・博物館所蔵資料
- ④ 旧安房南高校木造校舎(千葉県指定文化財)の保存・活用

2. 書籍等の発行事業

- 地域紹介のガイドブックを作成し販売。館山市内の一般書店やスタディツアーで有償頒布
- ・パンフレット「安房国再発見」は無料配布、パンフレット・DVD「館山まるごと博物館」は講演資料として配布
 - ・あわがいどシリーズ4部作『①戦争遺跡』『②房総里見氏』『③海とともに生きるまち』『④安房古道を歩く』
 - ・論文集『足もとから地域をみる～授業づくりから地域づくりへ』
 - ・里見叢書1『今よみがえる里見忠義の足跡』 ・『小学生がつくった館山のタカラガイ図鑑』
 - ・あわがいどマップ『①海軍のまち館山』『②黒潮とともに生きる漁村』・食文化レシピ集『おらがごっつお富崎』

3. その他の非営利活動事業

A. まちづくり事業

(1) NPO会員の交流

- ① 小高記念館の開館・運営 毎週月曜日 10:00～15:00 (林久子・酒井浩子)
- ② NPO懇親会・花見小原家庭園(村上宅) 4月14日 45名参加

(2) 知恵袋講座 毎月第四火曜日 13:30～16:00 小高記念館 ※一部ヘリテージ講座に振替

4月23日	被災地から学ぶ防災教育～旭市いいおか津波復興PT	福田百合
5月28日	沖縄の近現代の歴史から学んだもの	橋本芳久
6月25日	イルカから学んだホモ・デルフィナスの精神	成田 均

(3) 富崎地区のまちづくり

小谷家当主・青木繁保存会・青木繁「海の幸」会・館山市教委生涯学習課は「小谷家住宅**四者協議会**」として話し合いを重ね、青木繁保存会が策定した保存修理事業計画概要に基づいて合意に達した。3月に「青木繁『海の幸』誕生の家・小谷家住宅の修復・公開に関する**三者覚書**」(小谷家当主・青木繁保存会・「海の幸」会)の調印を交わし、4月に修復事業に着手した。

① 保存・管理活動

- ・小谷家住宅の庭整備・樹木伐採、 ・記念碑周辺の草刈
- ・歴史建物の保存活用事例の視察(新宿区立中村葬アトリエ記念館・旧安田楠雄邸)
- ・小谷家住宅の修復・公開に関する計画・検討
 - ・設計監理：(株)中村詔雄社寺建築設計事務所 / 施行：菅田建築
 - ・工期：平成26年4月～28年3月 ・公開予定日 平成28年4月20日
 - ・修復基金計画：全体事業費(概算)：46,027千円

文化財部分：28,188千円＝本体工事費24,840千円＋設計管理費3,348千円
 管理棟部分：17,839千円＝本体工事費17,839千円 (H25.12月末現在、単位：千円)

② 広報・普及活動

- ・会報、事業告知PR、ゆかりの地・諸団体との交流(くるめつつじ会等)
- ・青木繁作品複製画(同寸大)制作『海の幸』『わだつみのいろこの宮』 ・小谷家所蔵の書画修復

③ 地域振興活動

- ・ウォーキングガイドの協力(解説案内・ところてん提供等)
- ・小谷家住宅の公開見学会 ・ひな祭り(江戸期の雛人形展示・甘酒提供) 4日間で述べ200名来館

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4	36	8	51	80	2	58	147	39	85	10	300	820

- ・講演「明治の富崎村と神田吉右衛門の業績」 6月4日 (富崎小学校体育館)
 - ・富崎小学校の利活用の検討と呼びかけ ～全国廃校活用セミナー (会場:和田くすのき)への参加
 - ・劇団「歌舞人」合宿、ミュージカル公演 ～公益財団法人地球友の会(宮内淳理事長)との協働
- ④ 会員拡大・募金活動 会員数 181名のうち富崎地区 46名

(4) 松岡区(神戸地区)のまちづくり

松岡区民を中心に福原有信を語り継ぐ会(早川政義会長・和泉純子事務局)を発足

- ・講演会「福原有信の業績」 6月21日
- ・準備会・学習会 11月4日、12月13・20日、1月26日
- ・ふるさと館山松岡の偉人・福原有信を語る会 2月15日

(5) 文化庁補助事業「文化遺産を活かした地域活性化」事業

① 書籍発行:ガイドブック『館山まるごと博物館』、報告集『ヘリテージまちづくりのあゆみ』

② ヘリテージまちづくり講座(文化遺産を保存活用する人材育成)

7月23日	シンポジウム「東京湾まるごと博物館」:70名	岡田昌彰(近畿大学教授) 昌子住江(NPOアクションおっぱま理事長)
8月27日	東京湾要塞の戦跡(上総地区)見学:19名	栗原克榮(千葉県歴史教育者協議会)
9月24日	明治期資料の保存・管理と活用:34名	白水 智(中央学院大学准教授)
10月22日	佐倉まちづくり視察:29名	山倉洋和(NPO佐倉一里塚理事長)
11月16日	歴史建物(紅屋・鈴木家・小高記念館):23名	柴山慶二(文化財建造物保存技術協会)
2月15日	松岡ウォーキング:40名 ふるさと松岡の偉人・福原有信を語る会:200名	- 佐藤朝美(資生堂企業資料館)
2月16日	見学会:椿の里・小原家庭園 70名 シンポジウム「館山まるごと博物館」:60名	- 大原一興(横浜国立大学院巨樹) 林浩二(千葉県立中央博物館学芸員) 鄭一止(神奈川大学助手) 杉江敬(館山市教委生涯学習課)

③ 青木繁《海の幸》フェスタの開催(富崎小学校) 10月27日 65名

- ・展示:青木繁「海の幸」「海の幸下絵」(複製画)、布良崎神社奉納画:寺崎武雄「天富命布良上陸」
昭和初期の写真、海女、布良崎神社、神輿、小谷家の書画、明治の漁村資料など
- ・布良の海中映像と海洋牧場について:成田均氏 富崎小学校の今後についての意見交換
- ・富崎の昔を語ろう「しゃべり場」 富崎老人会の踊り「安房節」ほか

④ 「館山まるごと博物館」めぐりモニターツアー(対象・千葉大学教育学部) 1月19日 24名

(6) 安房地域内の協働

① 長期婦人保護施設「かいた婦人の村」(社会福祉法人ベデスタ奉仕女母の家・五十嵐逸美施設長)

平和・人権研修の連携

- 支援活動
- ・バザー支援:5月31日、6月1日、9月20・21日
 - ・甘夏収穫支援:5月7日 草刈り支援:6月5日、9月11日
 - ・学習ボランティア(2名) 夜祭支援 など

② 全日本年金者組合安房支部(田中房江支部長・新屋敷孝事務局長)との協働

情報共有・行事などの交流の推進、年金医療福祉のまちづくり活動、他支部へ平和学習誘致の促進

③ 第19回安房地域母親大会実行委員会(田中房江実行委員長)

- ・平和学習会 5月3日 :池田恵美子「足もとの地域から『平和の文化』を考える」
- ・憲法学習会 6月29日:池田香代子「安房がもし100人の村であつたら、わたしたちの憲法が見えてくる」

④ 安房・平和のための美術展実行委員会(橋本芳久実行委員長)8月23日～9月1日枇杷倶楽部ギャラリー

⑤ 館山病院健康友の会(諫川正臣会長 愛沢伸雄・新屋敷孝副会長)

⑥ 館山市観光協会(小金晴男会長、愛沢伸雄理事)

⑦ 館山タクシー協議会 研修100名に講演「富崎地区の観光まちづくり」11月12・13日

⑧ 安房歴史文化研究会(天野努会長・石崎和夫事務局長) 公開講座:愛沢調査報告 7月27日

- ⑨ 歩いて学ぶ里見氏の会(ブラさとみ) (島田輝弥会長)
- ⑩ 安房地域医療福祉介護連携・東日本大震災支援の会【AWA311-MCW】(事務局・伊藤真美、池田恵美子)

B. 国内交流

- (1) NPO法人全国生涯学習まちづくり協会(理事長:福留強)／聖徳大学生涯学習研究所
 - ・文化庁「文化遺産を活かした観光振興と地域活性化」事業の人材育成講座を委託
 - ・矢板市民大学修学旅行 13名来訪 8月10・11日
 - ・書籍『図書館がまちを変える』(著書:福留強)＝活動事例紹介:当会員・関和美
- (2) 千葉県歴史教育者協議会 (安房支部代表:愛沢伸雄、当NPOは法人会員)
 - ・千葉県歴史研究集会船橋集会 2月22・23日
地域分科会発表:「明治期館山の殖産興業と経済人ネットワーク」(愛沢伸雄)
「館山のヘリテージまちづくり講座の取り組み」(池田恵美子)
- (3) 社会教育推進全国協議会
 - ・第53回社会教育研究全国集会千葉集会 8月2・3日全体集会リレートーク・博物館分科会(池田恵美子)
 - ・君津地方社会教育委員「館山まるごと博物館」視察 25名 10月23日
 - ・木更津市立浪岡公民館・思春期家庭教育学級 21名 1月30日
 - ・木更津市立八幡台公民館・地層を学ぶ親子教室 50名 3月25日
- (4) 大学との連携
 - ① 千葉大学教育学部非常勤講師(愛沢伸雄) 後期10月～2月 週1回(木)
 - ② 中央学院大学法学部1年生オリエンテーション 6月1・2日
 - ③ 東京成徳大学:房総の文化(前近代)「里見氏と南総里見八犬伝」(愛沢伸雄) 6月13日
:房総の文化(近代)講義「南房総の戦争遺跡」(池田恵美子) 11月7日
 - ④ 流通科学大学:観光人材育成プログラム講義「潜在能力の発見と活用の技法」(池田恵美子) 8月5日
 - ⑤ 東京学芸大学史学会講演(愛沢伸雄) 6月16日
 - ⑥ 一橋大学大学院・池亨ゼミ 9月19日
- (5) 全国の関係団体との連携
 - ① 戦争遺跡保存全国ネットワーク(十菱駿武・村上有慶共同代表、愛沢伸雄運営委員)
・『戦争遺跡の図鑑』PHP研究所 6月発行 (共著:愛沢伸雄)
・明治大学平和教育登戸研究所資料館企画展「本土決戦と秘密戦」の展示資料協力
 - ② 手賀の湖と台地の歴史を考える会 2月22日 会場:柏の葉アーバンデザインセンター
・シンポジウム「柏北部を街ごと博物館に～エコミュージアムの提案」(池田恵美子)
 - ③ 文化財保存全国協議会(十菱駿武代表)
 - ④ 千葉県文化財保護協会(鶴之沢康雄会長、天野努副会長、愛沢伸雄評議員)

C. 国際交流

- (1) 日韓交流と調査研究
 - ・韓国人研究者・鄭一止(チョンイルジ)氏の研究・翻訳・交流
 - ・韓国文化観光研究院 34名来訪 8月28日
- (2) 日米交流と調査研究
 - ① アメリカ先住民のアワビ文化研究者 九州大学大学院・太田好信教授
 - ② 明治期のモンレーのアワビ移民(小谷源之助・仲治郎兄弟)と米軍の本土侵攻計画「コロネット作戦」
- (3) ウガンダ AWA-MINAMI (安房南) 洋裁学校との交流
 - ・交流窓口:スチュアート・センパラ氏(NGO ウガンダ意識向上財団＝CUFI)
愛沢伸雄(当NPO代表) 河辺智美(安房高校卒業生・筑波大学大学院2年)
 - ・安房・平和のための美術展実行委員会よりチャリティ寄付
 - ・ウガンダ支援バザー品の寄付と仕分け作業
 - ・館山病院感謝祭で支援バザー:NPO・安房西高校JRC部・旧安房南高校OB(チームひかりの) 10月6日
- ・ウガンダの子ども絵画展開催 館山病院ギャラリー 9月2～13日